

10月に入り、寂しさを感じるサロベツ原野です。鮮やかな花を咲かせていたお花たちは、来年またその姿を見せようと準備をしています。乾いた風が吹く秋色のサロベツ原野を見ながら木道を歩くのも、花が咲いている時とは違った良さを感じられると思います。サロベツ原野近くの牧草地では、渡り鳥の中継地点として天然記念物であるオオヒシクイやマガンなどが飛来してきています。絶滅危惧種に指定されているハクガンも下沼牧草地で見ることができました。群れでVの字になって飛ぶ姿はまさに圧巻です！

* 令和2年10月7日取材時の状況 *

幌延ビジターセンター 撮影



▲ 秋の深みが増して茶色く色づいたクサレダマ



▲ アキアカネがひと休みしています



▲ ツルコケモモの実を発見

下沼牧草地 撮影



▲ タンチョウのつがい



▲ マガンの中に混じっていた珍鳥 ハクガン
(国RDB絶滅危惧IA類に登録されています！)



▲ オオヒシクイの群れ

開花情報

*ミヤマアキノキリンソウ
*ナガボノシロワレモコウ

※見られる花が少なくな
ってきています！

お知らせ



町ホームページで
バックナンバーを
掲載中！